

湯前クラブ、準優勝で九州大会へ  
九州実年野球熊本県大会



連戦の疲れが残る中、準優勝を果たした湯前クラブ

<成績>

- 1回戦：湯前 10-1 阿蘇球友(阿蘇郡市) ※5回コールド  
2回戦：湯前 4-3 ウィード(熊本市)  
準決勝：湯前 3-2 あさぎりシニア(あさぎり町)  
決勝戦：湯前 1-2 トウヤクラブ(熊本市)



ガッツポーズで入賞を喜ぶ選手たち

第17回九州実年野球熊本県大会(満50歳以上)が9月22日から24日の3日間、玉名市を主会場に開催され、県内各都市から18チームが出場する中、湯前クラブ(川崎菊男監督)が準優勝しました。

トウヤクラブ(熊本市)との決勝戦では、1点を先制し、守っては先発の蓑田洋介投手(57=下村)が5回まで相手打線を1安打に抑える快投をみせたものの、アクシデントで投手交代。最終回に逆転され、優勝は逃しましたが、上位2チームに与えられる九州大会の出場権を獲得しました。

九州大会は各県代表2チームが参加し、11月24、25日に熊本市で開催されます。川崎監督は「2回目の優勝を目指していたので、悔しい準優勝となった。ほぼ全員が1週間前の県民体育祭でも決勝までの4試合を戦っていて、疲労が残る中での試合だったが、よく3日間頑張ってくれた。九州大会への出場権を獲得したので、2年前の準優勝を超える、九州チャンピオンを目指したい」と話していました。

清川さん、別府さんがV  
天神旗少年空手道大会

第39回天神旗少年空手道大会が9月9日に福岡県太宰府市の日本経済大学体育館で開かれ、本町の空手クラブ「陽心館」(藤岡孝史代表)の選手が出場。個人組手女子・小学4、5年女子で清川真帆さん(湯前小5年=植木)、同・中学2年で別府光美さん(多良木中2年=多良木町)が優勝しました。10月8日に人吉スポーツパレス第一武道場で開かれた国宝青井阿蘇神社奉納空手道鍛錬大会でも多くの選手が入賞しました。

<天神旗>

■個人組手・女子

- 小学4、5年 ①清川真帆 ③石井愛子  
○中学2年 ①別府光美

■型・女子

- 小学5、6年 ①石井愛子 ②多良木姫愛来  
○中学、高校 ②別府光美

■組手・男子

- 小学1、2年 ①石神絵翔  
■型・男子  
○小学1、2年 ①石神絵翔  
○小学3年 ②石井進太郎

1万個の積み木でひらめき伸ばす  
慈光こども園積み木ワークショップ

慈光こども園(藤岡洋子園長)の積み木を使ったワークショップが9月25日にで開かれ、2歳~年長児61人が積み木遊びを楽しみながら、創造力を伸ばしました。

取り組みは「木楽舎 つみ木研究所」(山梨県)代表取締役の荻野雅之さんらが全国の保育園で行っているもの。使った積み木は台形、立方体、長方形のヒノキ製。10年ほど前に同園が、積み木を購入したつながりからワークショップを開催。ひらめきや達成感を味わってほしいと1万個の積み木が用意されました。

園児は寝そべて円になり、降り注ぐ積み木のシャワーを浴びたあと、起き上がって積み木で海の生き物を作りました。小さな魚や亀、大きなジンベイザメやダイオウイカなど、みんなで協力しながらどんどん作品を作り上げました。一度崩れてもあきらめず作り直す園児もたくさんいました。

最後には積み木に「ありがとう」と言葉をかけ、ぎゅっと抱きしめてからきれいに片付けていました。



「ありがとう」と積み木を抱きしめる



1



2

1自由に積み木を組み合わせ、楽しく発想力を伸ばす園児2部屋いっばいに積み木を広げ、どんな作品が生まれたか発表

ルール守って事故ゼロに  
秋の交通安全運動推進大会

秋の全国交通安全運動4町村合同推進大会が9月20日に農村環境改善センターで開かれ、約300人が出席。9月21日から9月30日までの、全国交通安全運動週間に併せて町内一帯でキャンペーンが行われました。

大会は多良木地区交通安全協会と管内4町村が主催し、毎年春と秋の2回開催。交通安全の功労者や優良運転者5人を多良木警察署長が表彰。同署の交通係長は、子どもを交通事故で亡くした母親の手記を読み上げ、交通事故の悲惨さを訴えました。

人吉球磨のヒーロー「ジュグリッター」の交通安全ショーのあと、慈光こども園の園児が交通安全宣言を行い、「交通ルールを守って事故のないまちにすることを宣言します」と会場に声を届けました。



「事故のないまちにしよう」と交通安全宣言をした慈光こども園の園児たち